



分断化する世界と ロシア、北朝鮮



世界が分断化を深めている。1980年代以降、新自由主義的潮流とその下で進展したグローバリゼーションの波は、先進諸国でその恩恵にあずかれないグローバリゼーションの負け組を生み出し、彼ら没落する中産階級が脱グローバリゼーション＝国家主権回帰の原動力となっている。国際秩序形成国であるアメリカでもトランプ現象という形で、国家主権回帰＝内向き志向が先鋭化している。アメリカが軍事力の傘をたたみ始めたことで、世界的にアーナキーな状況が出現し、世界各地で地政学的緊張が高まっている。

北東アジアもこうした分断化する世界と無関係ではない。本セミナーでは、分断化する世界を読み解き、なぜ分断化が深まるのか、そして分断化する世界で北東アジアはどこへ行こうとしているのか、市民と一緒に考えたい。

2026年1月21日(水)

10:00～12:00（受付開始：9:45～）

新潟大学中央図書館ライブラリーホール

講演

参加費無料！
当日参加可！
ZOOM参加可！

「パクス・アメリカーナの終焉と分断化する世界」

新潟大学経済科学部長

溝口由己教授

「第2期トランプ政権が朝鮮半島情勢に与える影響」

新潟県立大学北東アジア研究所

三村光弘教授

「近年のロシアの貿易構造変化」

新潟県立大学北東アジア研究所副所長

新井洋史教授

「近年のロシア家計の資産保有動向」

新潟大学経済科学部

道上真有准教授

共催：新潟大学経済科学部

新潟県立大学北東アジア研究所

新潟大学共生経済学研究センター

ZOOM参加希望または
事前参加申込希望の場合は
右記のQRコードで申込
してください。



問合せ：新潟大学経済科学部 宮川 t-miyakawa@econ.niigata-u.ac.jp